

# 佐久建設事務所 道路事業による整備効果事例

主要地方道 下仁田軽井沢線 軽井沢町 南軽井沢地区（社会資本整備総合交付金・市街地整備事業）

- 本路線は碓氷軽井沢ICから軽井沢駅方面へ向かう観光客のマイカー乗入れにより観光シーズンを中心に慢性的な交通渋滞が発生し、国際観光都市軽井沢町にとって大きな社会問題となっていた。
- 特に国道18号と交差する南軽井沢交差点以南の渋滞が頻繁に発生していた。
- 平成19年度から事業に着手し、南軽井沢交差点付近の直進車線を1車線から2車線に追加する道路拡幅工事を進め、交通の円滑化向上を図るとともに沿線住民の安全確保に努めた。

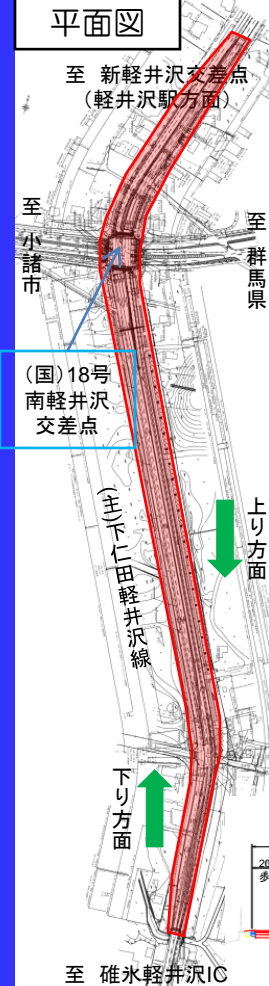


## 事業概要

事業概要 道路拡幅改良工 L=980m  
 幅員 W=13.0(36.0)m  
 事業期間 平成19年度～平成23年度  
 完成供用 平成24年6月

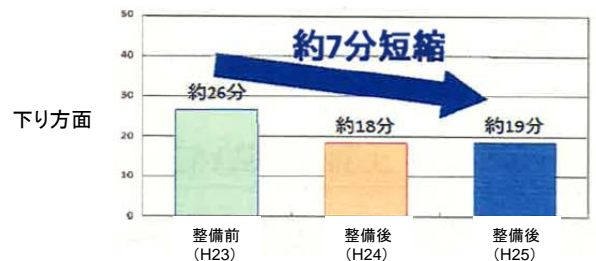
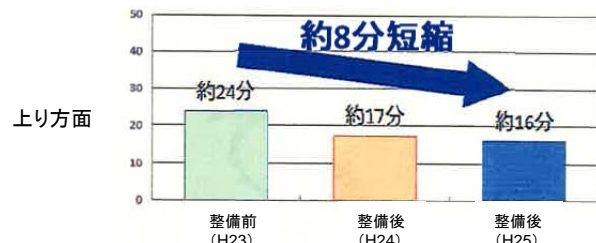


## 平面図



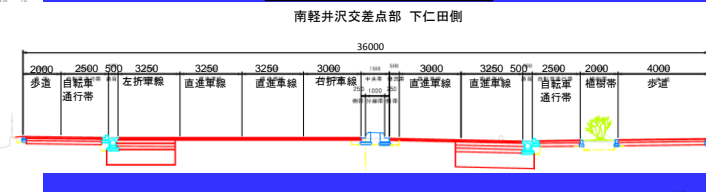
## 整備効果

<新軽井沢交差点～碓氷軽井沢ICの通過にかかる所要時間>



<出典：軽井沢町の休日における交通状況に関する連絡会資料>

## 標準横断図



# 佐久建設事務所 道路事業による整備効果事例

主要地方道 下仁田軽井沢線 軽井沢町 南軽井沢地区（社会資本整備総合交付金・市街地整備事業）

## 【走行時間の短縮】

- ① 直進車線を1車線から2車線に増やしたことにより、新軽井沢交差点～碓氷軽井沢ICの通過にかかる所要時間が、上り（IC方面）・下り（新軽井沢方面）ともに短縮された。

[新軽井沢交差点～碓氷軽井沢IC間（約11km）の所要時間（お盆）]

整備前（H23）：上り 約24分 下り 約26分

整備後（H25）：上り 約16分 下り 約19分

8分の短縮！

7分の短縮！

（出典：連絡会資料  
（国土交通省長野国道事務所））



## 【交通量の変化】

- ② 交通量は増加しているが、所要時間は上記①のとおりであり、車線数が増えたことにより通過がスムーズになった。

[ゴールデンウィークにおける交通量]

整備前（H21）：10,000～12,000台／日（工事着手年度）

整備前（H23）：10,500～22,000台／日（ETC休日割引・上限1,000円の時）

整備後（H26）：8,800～19,900台／日

（出典：連絡会資料  
（長野県道路建設課））

